

2021年度

SDGs CHALLENGE
- BizGlobeExpedition -

募集要項

2021年7月

兵庫県・神戸市
(運営事業者：NPO法人コミュニティリンク)

「SDGs CHALLENGE」 Biz Globe Expediton 実施概要

実施背景・目的

兵庫県及び神戸市は、国連機関UNOPS(国連プロジェクト・サービス機関)のスタートアップ育成拠点施設を誘致し、令和2年11月にUNOPS S3i Innovation Centre が神戸市内に開設された。これを契機とし、兵庫県及び神戸市はUNOPS S3i Innovation Centreと連携し、グローバルなSDGs課題解決を先導するスタートアップのロールモデル輩出に取り組む中で、令和3年度「SDGs CHALLENGE」を実施する。

「SDGs CHALLENGE」の基幹となるスタートアップ等育成プログラム-Biz Globe Expediton-では、世界規模のSDGs課題解決に挑むスタートアップ等の事業開発を支援し、兵庫県・神戸市からグローバルな社会変革を生み出すシステム・プロダクトを創造することを目指す。対象市場を日本国内に限定した起業が多い現状に対して、本プログラムを通じて起業当初からグローバル市場を前提とした事業開発・展開を支援し、これからのグローバル起業のモデルを構築する。

参加メリット

1. UNOPSのコワーキング施設無償利用（採択後から2022年3月末まで）
2. 兵庫県、神戸市、UNOPSが実施するスタートアップ支援事業の知見・ネットワークへのアクセス
3. スタートアップや支援者が構成するSDGsに資するコミュニティへの参加
4. 協力・後援団体が実施する海外進出支援プログラムとのマッチング

企画・運営

本プログラムは、NPO法人コミュニティリンクが兵庫県から受託し、山下計画株式会社と共同で企画・運営を実施する。

「BizGlobeExpedition」 募集要項

1. 募集対象

ビジネス開発や事業成長によりグローバルな視野でSDGsに資する技術・サービスやプロダクトを持つ、海外展開を志向するスタートアップ等

- シード期のスタートアップ（法人格の有無は問わない）
- 第二創業（新事業）を計画・挑戦中の中小・中堅企業

2. 募集テーマ

共通の社会課題であるSDGsの中から、大きな影響を及ぼす以下の課題のいずれかについて解決する事業の開発・海外展開を対象とする。

※重点課題を優先的に採択するものではない。

● 重点課題

- SDGs目標 3：すべての人に健康と福祉を
- SDGs目標 7：エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- SDGs目標 13：気候変動に具体的な対策を

● 自由提案

上記以外のSDGsで示される課題に対し、ユニークな視点・アイデアによる解決策

3. プログラム内容

- 参加チーム・起業家が全員参加のレビュー・ミーティングを週1回程度実施
県・市の各種専門サポートプログラム紹介、メンター陣調整、その他プロジェクトチームメンバーからのフォローアップ等
- 起業経験を有する経験豊富なメンター陣による個別相談（メンタリング）
- 専門家（弁護士・会計士・VC等）による実践手法の研修・ワークショップ
- 事業開発・海外進出に必要なポイント・手法を整理・体系化してオンライン公開
- SDGsにチャレンジする企業・団体とのマッチング機会の提供
- 投資や事業提携の実施等を訴求するデモデイ（必須）
- 海外実証や市場調査の支援
※海外実証・調査事業経費の支援は5社程度・1社上限200万円（税込）
※支援対象経費は別紙3を参照

4. 採択企業数

20社程度（うち、海外実証・調査事業経費の支援は5社程度）

※応募のあった企業等から随時審査を実施し、順次、採択企業を発表。

5. 参加費用

無料

6. スケジュール

応募期間	2021年7月15日（火）～2021年8月31日（火）18時
	※採択後から実施開始まで、希望される場合は、施設利用や協力・後援団体とのマッチングは可能
BizGlobeExpedition実施期間	2021年10月1日～2022年2月28日
↳ レビューミーティング レクチャー・メンタリング等	2021年10月1日～2021年12月20日
↳ 海外実証・調査事業	採択日～2022年2月28日
↳ デモデイ	2022年3月上旬

7. 応募方法と募集期間

- 応募方法：エントリーフォーム（Googleフォーム）
※別紙1よりエントリーフォームの項目を確認可能。
- 2021年7月15日（木）～2021年8月31日（火）18時まで

8. 審査方法および選考基準

応募のあったエントリーシートについて、審査基準に基づいて審査を行い、その結果をもとに参加企業を決定する。審査結果は、メールで通知予定。

（審査プロセス）

- 一次審査（書面審査）
- 二次審査（オンラインインタビュー）

海外実証・調査事業の実施を希望される応募者は、三次審査として、「海外実証・調査事業計画」の内容についてオンラインインタビューを実施。

(審査基準)

1. 具体的な事業（研究開発）活動に着手しているもの（純粋なアイデアレベルではないもの）
2. 事業目標やビジョンが明確であり、SDGsを基礎とする募集テーマに合致する活動方針を有するもの
3. 主体性と熱意

9. 採択企業の発表について

採択企業は、WEBサイト (<https://sdgs-challenge.jp>) で発表。

10. アンケートやフォローアップへの協力依頼

プログラム改善を目的としたアンケートやヒアリングを実施。

11. その他注意事項

- a. 全参加企業・個人はUNOPS S3i Innovation Centre Japanの支援対象となるため、同センターの入居企業登録を必須とする。恒常的な施設利用については起業プラザひょうごの利用規約に準拠する。（起業プラザひょうごとUNOPS S3i Innovation Centre Japanは併設。）
- b. 事業計画等の知的所有権については、提案者に帰属する。ただし、特許・実用新案、企業秘密やノウハウなどの情報の法的保護については、提案者の責任において対策を講じた上で、一般に公表しても差し支えない範囲で応募すること。
- c. 応募にあたって提出する個人情報を含む提出書類の内容は、兵庫県・神戸市・UNOPS S3i Innovation Centre Japanに共有する。また、協力・後援団体に対しても本プログラムの実施に資するものと運営事業者が判断する場合は必要な範囲で共有する。
- d. 提出した応募者の個人情報は、法令に定めのある場合や本人が同意している場合を除き、目的外利用することや関係者を除く第三者に提供されない。
- e. 審査結果発表後やプログラム開始後においても、エントリーフォームへの虚偽の記載等の事実が判明した場合は、本プログラムへの参加資格を失うものとする。
- f. 渡航を伴う場合は、「外務省海外安全ホームページ」に基づく海外危険情報レベル、または海外感染症危険情報レベルが2以上の国については、必要な安全措置を講ずるなど自己判断の上、実施する。

12. 問い合わせ

【運営事業者】NPO法人コミュニティリンク（中西、辰巳）
sdgs-challenge@communitylink.jp

(別紙 1) エントリーフォーム 記入項目一覧

Googleフォームよりエントリーをお願いします

<https://forms.gle/zDB4fQxPkQgzMPDt9>

1. 応募テーマについて

● 重点課題

- a. SDGs目標 3 : すべての人に健康と福祉を
- b. SDGs目標 7 : エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- c. SDGs目標 13 : 気候変動に具体的な対策を

● 自由提案

上記以外のSDGsで示される課題に対し、ユニークな視点・アイデアによる解決策

2. 申請者の種別

■ 法人 or 個人

3. 法人名または団体名
4. 本社所在地
5. 設立年月日
6. 資本金
7. 代表者氏名
8. 代表者の役職
9. 代表者のメールアドレス
10. 申込者氏名
11. 申込者役職
12. 申込者メールアドレス
13. 緊急時などの連絡先電話番号
14. 海外実証にも応募されますか？

● はい or いいえ

※「はい」を選択された方は、三次面接まで実施します。

別途、メールにて「海外実証・調査事業計画書」を送付しますので
期日までに提出をお願いします。

詳細については各社個別にご対応いたします。

15. 解決したい課題の概要 (200文字以内)

16. 海外展開に関心のある国・地域（複数可）
17. アイデア・事業の概要（200文字以内）
18. プロトタイプまたは製品のURL
19. 応募事業の現状について（200文字以内）
企画中、試作中、販売中かなど、現在の状況について記載。
20. その詳細について（A4 2枚程度）
事業の実施状況について詳細を記載。
特に、試作中やテスト販売や実証実験が行われている場合は、その検証結果などのデータに基づき、説明をすること。
21. ビジネスモデル（収益モデル）
22. パーンレート
23. 同じような製品や類似・競合・参考にしているサービスはあるか？
競合他社の名前やURLなどを記入。
24. このプログラムに参加して期待しているものは何ですか？
25. プログラム期間中、UNOPS S3i Innovation Centre Japanのコワーキングスペースの利用想定人数を教えてください。
26. その他、ご要望やご質問があればご記入ください。
27. 会社資料やピッチ資料があれば資料の添付をお願いします。

(別紙2) 海外実証・調査事業計画書

1. 対象国・地域
2. 海外進出の動機・戦略、対象国・地域の選定理由（200文字程度）
3. ビジネス展開を通じて解決する対象国・地域の課題（200文字程度）
4. 新たに挑戦する実証事業（または調査事業）の目的と概要（200文字程度）
5. 新たに挑戦する実証事業（または調査事業）の詳細（A4 1枚程度）
6. 実施計画期間
7. 実施体制
8. 実施スケジュール
9. 支出予定費用明細とその支出予定時期

※その他、追加資料を求める場合があります。

(別紙3) 海外実証・調査事業の経費について

新規に実施する海外実証や市場調査等に係る費用を本プログラムが負担する。但し、海外実証・調査事業計画に基づき事前に承認を受けた額を上限とする。

海外実証・調査事業計画を別途作成すること。
計画書で認められた経費のうち、原則上限200万円（税込）までを負担する。

<対象となる経費>

海外実証・調査事業計画の採択日以降に発生した経費のうち、以下のもの。

- 現地パートナーへの委託費（プロトタイプの実証費用、市場調査等）
 - 専門家への謝礼
 - 海外渡航費（渡航費・日当・宿泊費・保険費用・予防接種費用・査証取得費用、現地交通費）
 - 通信費
 - 傭人費（通訳・現地ガイド・運転手等）
 - 製品・サービスの輸送費
 - 現地展開資料の作成費（翻訳費用等）
- ※対象経費の詳細は申請時に精査。
※海外渡航費の上限は、兵庫県の規程に基づき精査。

<対象外経費>

- 参加企業の社員人件費（社内エンジニア、子会社等も含む）
 - サービス開発の外注経費
 - 国内旅費（神戸の会場への移動費含む）
 - 備品購入費（企業の資産になる備品など。データ等も含む。）
- ※備品は、10万円（税抜き）以上とする。

<対象期間>

- 採択日～2022年2月28日

<対象国>

- 全世界・複数か国でも可
- 渡航を伴う場合は、「外務省海外安全ホームページ」に基づく海外危険情報レベル、または海外感染症危険情報レベルが2以上の国については、必要な安全措置を講ずるなど自己判断の上、実施する。

<精算方法>

- 原則として、海外実証・調査事業に係る手配は採択者が行い、請求書によりNPO法人コミュニティリンクが支払うこととする（コミュニティリンク宛ての請求書・領収書を取得する）。

- ただし、海外現地においてやむをえずクレジットカード払いや現金払いなどで立て替えが発生した経費については、指定フォーマットにて領収書などの書類を添付して報告のうえ、精算する。